



小説

あさひな
朝比奈 敦
あつし

山口市
(1946～2015)



提供・矢野道代

【著作】

『天目山』(平成12・梓書院)
『方先生』(平成15・編集工房ノア)
『国境』(平成19・鳥影社)
ほか

朝比奈敦(本名矢野栄一郎)は下関に生まれたが、父の勤めの関係で小倉から大阪へと転校を重ねる。高校生になると、心通う友だちを求めて同人誌を発行。誌名は『仲間』。残念ながら作品は不明だが、『仲間』が朝比奈文学の原点ではあるまいか。

大学卒業後、株式会社クラレに入社。一年後、(財)法曹会出版部で五年勤めた後、教職を志し、神奈川県立津久井高等学校教諭となる。神奈川県から山口に戻り、柳井商業高校に在任中、山口高校の教諭数名で始まった同人誌『風響樹』を知り、三号から加わる。最初の作品は『Kさんの死』。既にいくつかの作品を持つ力量を伺わせるものであった。

やがて山口高校に赴任した彼は、字部の文学グループの同人誌『鷹』に参加する等、創作意欲旺盛で、平成二年には処女創作集刊行。平成五年、山口県文化振興奨励賞受賞。

平成八年には更に発表の場を広げ、『九州文学』に参加。復刊十二号で『天目山』が好評を得、更に平成十三年、『V I K I N G』六一二号に掲載された『囚人の墓』で第九回神戸ナビール文学賞受賞。

平成十六年、山口高等学校依願退職。

平成十七年、大阪文学学校の講師に招かれる。その傍ら自身の創作にも更に意欲を燃やし、『V I K I N G』六八〇号に寄稿した『国境』が『文学界』二〇〇七年下半期同人雑誌優秀作に選ばれた。

作品の舞台は、南の国境の名もない島。そこへどこからともなく住み着いたハトちゃんと呼ばれる得体の知れない男が主人公である。

作品評の要約は、「何を願うでもなければ何を恨むでもなく、毎日を適当に生きているものうい生活。現代日本のものうさを見事に映し出した傑作」と高い評価を得た。

次は、作者自身の感懐。

「三十八歳から小説を書き始め、二十三年が経過していてこの作品が載らなければもう載ることはないだろうという確信めいたものがあつたので率直に嬉しかった。(中略)ハトちゃんという主人公に最初のうちは山頭火のような、と書き加えたい衝動にかられた。私が山頭火を知るのは高校生の時。一九六〇年後半である。人間と言うものは何と哀しい存在なのか、なんで自分から不幸の方へと踏み込んでいくのか、という疑問にとりつかれた。だが書き進めていくうちにハトちゃんという主人公は山頭火とは全く別の道を歩むことになる。しかし、臍の部分ではつながっているような気がする。」

振り返ると、朝比奈敦は総じて不条理という宿命を背負う人間に視点を描き、それに最後までこだわり続けた作家であったと云えよう。

しかし、最後は家庭小説『家族の行方』・創作集『心にやさしい小説集』を置土産に還らぬ人となった。

(文・多田美千代)



大阪文学学校にて

小説は、つまるところ人間を描くことにあると思うのだが、人間の本质が表出するのは、不幸な生涯の中にあることが多い。一言でいえば不条理ということになるが、そうした人間にめくもりのある視線を注ぐからこそ小説を書く者の大切な心構えだと思ふ。

―後進に当たった書簡より―



季刊文芸誌『JURIN』
―朝比奈 敦 追悼号―

― 受賞作品初出誌 ―



(1996年17号) (2007年11月号) (2007年12月号)
下半年優秀作

― 受賞作 所収作品集 ―



(平成12年) (平成15年) (平成21年)

朝比奈敦

年譜

(提供・矢野道代)

昭和21(一九四六年)	六歳
昭和27(一九五二年)	一〇歳
昭和31(一九五六年)	一三歳
昭和34(一九五九年)	一六歳
昭和37(一九六二年)	二四歳
昭和45(一九七〇年)	二五歳
昭和46(一九七二年)	三〇歳
昭和51(一九七七年)	三五歳
昭和56(一九八二年)	三八歳
昭和59(一九八四年)	四一歳
昭和62(一九八七年)	四二歳
昭和63(一九八八年)	四四歳
平成2(一九九〇年)	四七歳
平成5(一九九三年)	五五歳
平成13(二〇〇二年)	五七歳
平成15(二〇〇三年)	五八歳
平成16(二〇〇四年)	五九歳
平成17(二〇〇五年)	六一歳
平成19(二〇〇七年)	六三歳
平成21(二〇〇九年)	六五歳
平成23(二〇一一年)	六八歳
平成26(二〇一四年)	六九歳
平成27(二〇一五年)	七〇歳

下関市入舟町に生まれる。

小倉市立富野小学校入学。

大阪府豊中市立大池小学校転入。

大阪府豊中市立第二中学校入学。

大阪府立桜塚高等学校入学。

早稲田大学法学部第一法学部卒業。

株式会社クラレ入社。

(財)法曹会出版部入社。

神奈川県立津久井高等学校教諭。

山口県立柳井商業高等学校教諭。

同人誌『風響樹』3号～45号まで参加。

同人誌『鷹』22号～97号まで参加。

山口県立山口高等学校教諭(普通科・通信制・社会科担当)

創作集『ニッコウキスゲ』(皆美社)刊行。

創作集『玉川上水路』(皆美社)刊行。

山口県芸術文化振興奨励賞受賞。

創作集『アラシネの夢』(葦書房)刊行。

同人誌『九州文学』復刊第12号第3巻第4号～第17号第5巻第1号まで参加。

創作集『天目山』(梓書院)刊行。

同人誌『V I K I N G』601号～768号まで参加。

第九回神戸ナビール文学賞受賞。受賞作『囚人の墓』。

創作集『方先生』(編集工房ノア)刊行。

山口高等学校依願退職。

大阪文学学校講師(2012年まで)。

同年12月号『文学界』に掲載。

創作集『国境』(鳥影社)刊行。

毎日新聞山口版『はがき随筆』選者(2015年まで)。

小説『家族の行方』(ぎじろくセンター)刊行。

創作集『心にやさしい小説集』(ぎじろくセンター)刊行。

10月22日、前立腺がんのため逝去。

朝比奈敦